

1,500°C級コンバインドサイクル (MACC、More Advanced Combined Cycle)

市内でエネルギー供給

東京電力株川崎火力発電所



■ 製品・技術等の概要

1,500°Cの高温の燃焼ガスによるガスタービン発電と蒸気による蒸気タービン発電のダブル発電方式による電力の供給

■ 先進性・独自性等

熱効率約 59% (低位発熱量基準) であり、従来の蒸気利用による汽力発電方式と比べ、燃料使用量等を削減し、CO₂削減に貢献

■ 域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等

同規模のLNG火力発電所による電気の供給

■ 算定条件 (機能単位)

系統へ1千kWhの電力を送電すること

■ 域外貢献量

1. $70 \times 10^6 \text{ t} - \text{CO}_2$ (CO₂換算) (エネルギー供給1年間)